

報道機関各位

北日本通信株式会社による産学共同研究開始のお知らせ ～次世代通信技術の実用化に向けて～

岩手県立大学と北日本通信株式会社は、平成 25 年 11 月 1 日より、次世代通信技術の実用化に向けての共同研究を開始しました。

今回の取り組みによる成果としては、災害発生時の通信確保や既存の技術では適用できないエリアでの通信路設置などの要望に対する、具体的なソリューションとしての提供を目指し、共同研究期間を当初 3 年間として、初年度はプロトタイプを作成し、機能、性能の評価を行う予定となっております。

取り組みについてのご取材をお願いします。

記

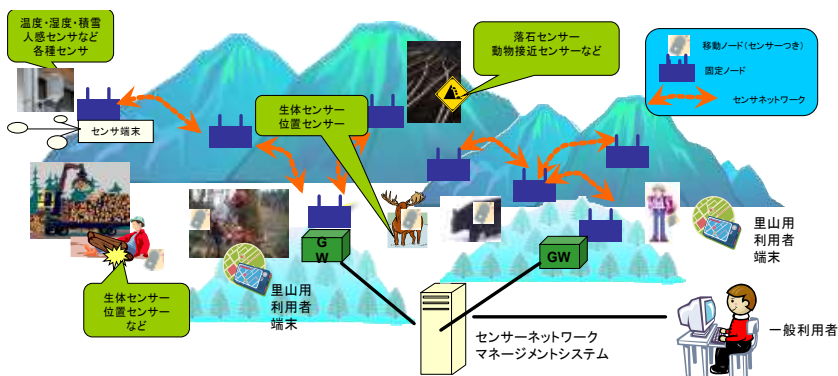
1. 共同研究概要

- 北日本通信株式会社(本社:岩手県盛岡市本町通三丁目 20-6 代表取締役 阿部昭典)は、創立 40 周年を迎え、創業時より国・県・市町村を含む数多くの業界へ防災・情報・環境・エネルギー・教育・医療・福祉等、幅広い分野でシステムを納入。それらの実績から得た様々な技術的な課題を解決するために「いわて発」のシステムメーカーとして本共同研究を開始する事となったもの。
- 本研究では、ソフトウェア情報学部 瀬川典久講師の研究テーマである「里山での活動を支援するユビキタスセンサネットワーク環境構築の研究開発」の実績を活用した長距離小電力無線モジュールの実用化に向けた研究開発の他、災害発生時の通信確保や通信網を冗長化する技術を取り入れた制御装置の製品化などに取り組む。
- 本取り組みによる成果として、災害発生時の通信確保や既存の技術では適用できないエリアでの通信路設置などの要望に対して、具体的なソリューションとして提供出来るようにする事を目指す。期間は当初 3 年間とし、初年度はプロトタイプを作成し機能、性能の評価を行う予定。

2. 研究者プロフィール

瀬川典久講師(ソフトウェア情報学部)

- 最終学歴:
東北大学大学院情報科学研究科
- 学 位:
博士(情報科学)
- 研究領域:
センサネットワーク、ヒューマンインターフェース、ユビキタスコンピューティング、ペンコンピューティングとそれらを利用したセキュリティシステムの構築



従来のセンサネットワークとは異なり、低電力で長距離の伝送を可能にします(伝送距離 5km-100km)。また、電池駆動可能なセンサとして実装が可能で、あらゆるセンサと組み合わせることでさまざまな情報が取得出来ます。

<本件に関するお問い合わせ先>岩手県立大学 地域連携本部 大橋 電話 019-694-3330